

NHKの“現在地” ～ネット時代の地域放送局～

NHK奈良放送局局長 山下徳子氏

火曜午餐会11月第2例会を16日、当部5階大会議室にて開催した。地元にある放送局として身近な存在でもあるNHK奈良放送局。山下氏は放送局としての仕事を紹介すると共に、ネット時代におけるNHKの現状や将来に向けての取り組みについて語った。講演要旨は次の通り。

NHKの地域放送局

NHKは、47都道府県+北九州、釧路、帯広、函館、北見、旭川、室蘭の全国54放送局で、各県のニュース・情報を県内、全国に放送。札幌、仙台、東京（首都圏）、名古屋、大阪、広島、松山、福岡の拠点放送局で、管内のニュース・情報を管内、全国に放送。職員（社員）10,333人の内、約半分が地域放送局勤務。2021年度から「人事制度改革」を重点項目に掲げ、人材の多様性や女性活躍を進めており、現在、女性の放送局長は12名。

NHKの職種

NHK職員約10,000人の内、アナウンサーは500人。95%が裏方とも言える。奈良放送局は、放送（記者やディレクターなど）26名、技術13名、広報や経理など7名、営業8名、局長ふくめ55名で対応している。

最近、テレビ、みてますか？

調査によると、NHKを見る人の割合は、1989年（約80%）→2019年（約60%）と低下、民放に比べ、視聴者も高齢層に偏っている。リアルタイムでテレビを視聴するのは60代以上で、50代以下は録画かインターネット配信での視聴が多く、若い世代ほどリアルタイムでテレビを見ていない。インターネット動画サービスは、50代以上の利用者は少ないものの、若い世代はYouTubeやAmazonプライム・ビデオ等のサービスを積極的に利用している。ネット時代においてNHKの存在感が懸念されている。現在、NHK（衛星）受信料は2,170円、動画サービスのひとつNETFLIXは1,490円。金額だけ見ると高いように思えるが、NHKという「公共性」がなくなると、どうなるかを考えてみると、①インターネットでみたい情報だけを見る→知識や理解の偏りに繋がる

- ②災害時→あらゆる人の命を救えない（情報が届かない）
- ③教育や文化への理解、低下の懸念④民主主義の下支え、社会のインフラ（日々の生活を支える基盤）がなくなる、等問題が起きてくると思われる。皆様に、水道や電気と同じ「欠かせないもの」として思ってもらえるかが問題である。



テレビ番組の「ネット配信」

海外では当たり前のテレビのネット配信だが、日本は国際的にも遅れていた。今年、民放キー局5社が、若者のテレビ離れが進む中、番組をスマートフォンでどこでも見られるようネット同時配信を開始した。NHKには「放送法」があり、インターネット活用実施基準で「放送の『補完』なら可能、活用事業費は上限年間200億円」と定められている。そんな中、活路を見出そうと配信しているのがスマホアプリでみる「NHKのニュース」と「NHKプラス」。ニュースでは、防災情報や日々の出来事、最近では、最高裁判所裁判官国民審査における情報等を配信、NHKプラスでは、番組を同時配信（2週間の見逃し配信にも対応）、将来的に地域放送も配信し、通勤・通学の電車の中でスマホでも見て頂けるようになる。

新しいNHKらしさの追求

受信料で成り立つ公共メディアとして①安全・安心を支える②新時代へのチャレンジ③あまねく伝える④社会への貢献を目標に掲げている。特に「社会への貢献」として、地域の情報発信に力をいれている。奈良放送局では「東大寺修二会」の生中継や「法隆寺 救世観音菩薩」の8Kでの記録や調

査など、地域の魅力を、日々のニュースや番組で伝えている。

NHK奈良放送局は、奈良市光明院町（昭和12年～昭和27年）、奈良市登大路町（昭和27年～昭和46年）、奈良市鍋屋町（昭和46年～令和2年）と場所を変え、令和2年9月28日、奈良市三条大路1丁目に移転・新築オープンした。来年には、昭和47年の奈良県域テレビ放送開始から50年を迎える。NHK奈良放送局を、これからもどうぞよろしくお願ひします。

〈プロフィール〉

奈良市生まれ、奈良女子大学を卒業後、平成5年NHKに入局。9回の転勤を経て、今年7月奈良放送局長として着任。〈ディレクターとして番組の企画・取材・制作を担当〉①奈良放送局では奈良の題材を取材（「奈良阪の翁舞」、「国宝」 「吉野葛」、「奈良漬」等）②東京（番組制作局）では全国各地を取材（「おはよう日本」「生活ほっとモーニング」等）③大阪放送局では関西を取材（「ETV特集」「クローズアップ現代」「阪神淡路大震災10年」等）〈デスク、プロデューサーとして新番組開発や番組の品質管理〉④（東京）制作局（「あさイチ」の立ち上げ等）⑤大阪放送局（「ルソンの壺」「バリバラ」等）⑥奈良放送局（「ならナビ」「地域発ドキュメンタリー」等）〈チーフプロデューサー、部長として組織のマネジメント〉⑦大阪放送局（「歴史秘話ヒストリア」等）⑧東京・制作局（「あさイチ」「所さん大変ですよ」等）⑨天津放送局（大河「麒麟がくる」朝ドラ「スカーレット」の関連番組等）